

平成30年度

事業報告書

江別市社会福祉協議会（以下「当協議会」）では、平成27年度から平成31年度までの5カ年を期間とする第3期地域福祉実践計画（以下「計画」）に基づき「暮らしの安心を支える地域福祉」を目指して運営・事業を進めています。

30年度は、計画の4年目を迎え、関係機関・団体との連携・協働により、従来からのくらしサポートセンターえべつや江別市成年後見支援センターの運営、そして生活支援体制整備事業などに取り組むとともに、身近な地域での生活支援やボランティア活動の推進など様々な福祉課題に対応する事業活動を積極的に展開しました。

以下、事業の実施結果について報告します。

目次

基本計画1	地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備	1
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり	7
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進	10
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成	13
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供	15
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり	19
★	会務の運営、基本計画以外の主な活動	27

基本計画 1 地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備

市民が福祉サービスを利用しやすくするための情報提供と生活全般にわたる困りごとや悩みごとに対応できる相談支援体制の整備に努めました。

(1) 地域の福祉課題の把握

第4期地域福祉実践計画策定に向けて、平成31年3月、自治会、福祉団体・施設、ボランティア団体など295カ所に、当協議会の運営・事業推進上の課題や地域の福祉課題などを把握するため、アンケート調査を実施しました。

(2) 広報活動による福祉情報の提供

① 社協だより「幸せな社会」の発行

身近な地域の福祉情報を掲載した広報誌「幸せな社会」を年4回発行（発行1回につき約42,000部）し、自治会の協力を得て市内全自治会員に配布するとともに、ホームページ掲載、公共施設への配置及び関係団体などへ送付し、福祉情報を発信しました。

また、表紙など一部カラー印刷や写真を活用し、市民にわかりやすい誌面づくりに努めるとともに、拡大版を作成し公共施設などへの設置やボランティアセンター登録団体の点字ろくの会の協力を得て、誌面を点字化し、視覚に障がいのある方へ情報提供しました。

② ホームページの運営

当協議会の運営・事業内容やタイムリーな福祉・ボランティア情報の掲載と更新に努めました。

また、平成30年6月から、より一層市民に見やすく、分かりやすく福祉情報を提供するためホームページをリニューアルしました。

【アクセス件数】 10,928件（前年度比2,199件増）

③ 社協事業活動の説明

当協議会ボランティアセンター登録団体など関係機関・団体の会議に積極的に出向き、「社協紹介パンフレット」を活用し、事業内容などについて説明し、理解が深まるよう努めました。

また、「2018年度版社協要覧」を作成し、福祉団体・施設などへ配布し、PRに努めました。

【説明先】札幌学院大学大学院公認心理師受験資格取得「心理実践実習」、江別認知症の人の家族を支える会第7期活動員養成講座

(3) 福祉サービスの適正化、苦情対応

当協議会が提供する福祉サービスに寄せられる苦情・意見などについて、電話での対応のほか現地へ出向くなど適切な対応に努めました。

- 【具体例】・給食サービスの遅配、味付けなどに関すること
- ・除排雪に関すること（作業の仕方や時間など）

(4) 生活課題に対応した総合的な相談支援

① 生活困窮者自立支援事業の実施（市受託事業）

くらしサポートセンターえべつ（以下「くらしサポ」）では、対象者像に合わせた就労支援と役割を創出する活動の充実に注力するとともに、関係機関への事業説明や、ブログでの情報発信も含め、事業周知活動に努めました。

【相談支援実績】 新規相談件数：352件 支援延べ回数：3,197回
プラン作成件数：73件

【支援調整会議】

市所管課（管理課）担当職員、市保護課職員、就労準備支援事業所しごとサポートセンターコクリ（以下「コクリ」）職員、くらしサポ相談支援員により、自立に向けたプランの確認や、事業の進め方、相談内容の対応などについて協議しました。

開催回数：44回

【江別市生活困窮者自立支援ネットワーク会議】

生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、関係機関などが連携し情報共有を行うとともに、支援に必要なネットワークを構築するために開催しました。また、参加依頼を教育・福祉・警察・法律・NPO・企業など多様な機関へ行う事で、分野横断的なネットワークの構築を図りました。

開催回数：1回（30人参加）

【就労支援】

コクリやハローワークなど就労支援機関との連携はもとより、ハローワークでの求職が困難な方々（背景に病気・障がい・社会経験の乏しさなど）への支援の充実に向けて取り組みました。

- ・就労体験先などの開拓に向けて

企業など訪問数 12カ所（14回）

- ・無料職業紹介事業

求人登録数 4件

求職登録者数 5人

就労決定者数 1人

- ・イベント「えべつ企業の広場（デモ開催）」

就労困難な相談者と企業とが「対話する機会」を創出

参加者：6名 参加企業：3社

・江別市版中間的就労に向けてのモデル事業実施

企業とタイアップし、雇用契約を伴わない就労の形を模索

*** 中間的就労：**一般企業などですぐに働くことが難しい方を対象に、訓練として支援付きの就労の場（軽作業など）を提供する事業。事業者との雇用契約は無いものの、参加者に一定の作業料を支払う。

・役割の創出

江別市農福連携協議会などの協力のもとお借りしている「くらサポ農場」での農業体験や特技（イラスト）を活かした個展を開催

【事業周知・説明】

ブログや社協だより「幸せな社会」、市広報誌での情報発信などの周知活動を実施しました。また、福祉団体などに対し事業説明を行いました。

説明ヶ所数 13ヶ所

【家族懇談会の開催】

社会的なつながりが希薄（ひきこもりや障がいなど）な方の親御さんを対象に、気軽に参加でき、悩みや愚痴を話すことで気分転換ができる場として開催するなど、家族への支援に取り組みました。

開催回数：2回（延べ23人参加・関係機関より10人参加）

【家計支援実績】

家計に関する助言や、滞納解消及び債務整理に関する支援、貸し付けの斡旋など、相談者自ら家計改善に取り組めるよう支援しました。

実介入件数：150件

プラン作成件数：34件

② 権利擁護の体制整備と相談支援

ア) 日常生活自立支援事業の実施（道社協受託事業）

北海道社会福祉協議会（以下「道社協」）から受託して行っている当事業を円滑に実施するため指揮監督者、自立生活支援専門員（いずれも職員兼務）及び生活支援員を配置し、福祉サービスの利用や生活費管理などに不安を抱えている方々を対象に、その支援や重要な書類の預かりなどを行い、地域で安心して生活できるようにサポートしました。

【契約件数】 22件（新規4件）（前年度比増減なし）

【生活支援員登録者数】 24人（新規5人）（前年度比3人増）

イ) 成年後見実施機関の運営及び事業の実施【成年後見制度の利用促進への協力】

（市受託事業など）

江別市成年後見支援センターでは、成年後見制度の相談支援及び広報カード

の作成や地域向け講演会開催などにより制度普及・利用促進に努めるとともに、市民後見人候補者の資質向上を図るためフォローアップ研修を実施しました。

また、当協議会では成年被後見人などの権利を擁護するために法人後見業務を実施しました。

***市民後見人**：専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士など）及び親族の成年後見人などではなく、地方自治体が行う後見人養成講座などにより一定の知識・技術・態度を身に付け、実際に家庭裁判所から選任されて成年後見人などの法律行為を行う一般市民の方。

【相談支援実績など】 新規相談件数：98件
延べ相談件数：638件
延べ相談支援回数：604回
申立支援件数：20件
後見開始審判の市長申立要請：4件
受任調整会議：6回

【法人後見】 年度末受任件数：8件（受任9件、終了2件）

【市民後見人フォローアップ研修】

- ・第1回／平成30年6月20日（水）「市内施設見学（特養・老健・ケアハウス）による施設概要、役割及び成年後見制度との関わりなど」の学習
- ・第2回／平成31年2月22日（金）「具体的な法人後見活動を題材とした事例検討・グループワーク」

【普及啓発】

- ・社協だより「幸せな社会」やホームページでの情報発信
- ・広報カードを作成し市役所・病院などに設置
- ・出前講座の実施／江別北地区民生委員児童委員協議会、江別市自立支援協議会、江別市特別支援学級親の会、江別身体障害者福祉協会、江別市家庭生活相談員、地域生活サポートセンターららぶ
- ・地域向け講演会の開催／平成30年11月4日（日）江別市民会館「おひとりさまの認知症と成年後見制度」 116人参加

【関係機関との会議等】

- ・後見実施機関運営会議（市所管課との打合せ、9回）、札幌学院大学大学院公認心理師受験資格取得実習への協力、平成30年度第1回江別市後見実施機関運営協議会、権利擁護人材養成市町村セミナー（道主催）実践報告、平成30年度看護管理者懇談会、家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会、地域包括支援センターとの情報交換会、行政書士会との情報交換会、暮らしと成年後見について考える研修会（市主催）事例報告

【登録管理】

- ・市民後見人及び後見支援員の登録意向確認を実施

・年度末登録者／市民後見人25人、後見支援員25人

③ 生活安定のための貸付金を活用した相談支援

生活困窮・障がい者世帯に対し、用途目的に応じた資金の貸し付けを行い、日常生活の支援に努めました。

また、相談の複雑化などに対応するため、前年度に引き続き生活資金相談員を配置し、円滑な業務の推進に努めました。

【相談者件数】

区 分	30年度	29年度	増減
生活福祉資金	延93件	延99件	△延6件
福祉金庫	延138件	延113件	延25件
電 話	延102件	延107件	△延5件
計	延333件	延319件	延14件

ア) 生活福祉資金の貸付（道社協受託事業）

道社協の「生活福祉資金貸付事業」の取り扱い窓口として、各種資金を貸し付けました。

【貸付実績】

※各欄上段が貸付件数・下段が貸付金額

区 分	30年度	29年度	増減
福祉資金	1件 170,000円	2件 109,470円	△1件 60,530円
教育支援資金	7件 11,836,000円	4件 5,304,000円	3件 6,532,000円
緊急小口資金	9件 745,000円	11件 870,000円	△2件 △125,000円
総合支援資金	1件 300,000円	0件 0円	1件 300,000円
計	18件 13,051,000円	17件 6,283,470円	1件 6,767,530円

イ) 特別生活資金の貸付（道社協受託事業）

道社協の「特別生活資金貸付事業」の取り扱い窓口として、冬期の生活を確保する資金を貸し付けました。

【貸付実績】

区 分	30年度	29年度	増減
貸付件数	0件	0件	0件
貸付金額	0円	0円	0円

ウ) 福祉金庫の貸付

当協議会の独自事業として、一時的に生活費が必要となった世帯に4万円を限度として、応急的な資金を貸し付けました。

【貸付実績】

区 分	30年度	29年度	増減
貸付件数	95件	85件	10件
貸付金額	3,510,000円	3,310,000円	200,000円

④ ボランティアによる日常生活上の悩みごとに関する相談支援

相談活動を主とするボランティアセンター登録3団体の協力を得て、火・金曜日の悩みごとテレホン相談及び木曜日の認知症の介護相談を実施しました。

【協力団体】 江別家庭生活カウンセラーグループ、江別市家庭問題研究会、江別認知症の人の家族を支える会

【相談件数】 79件（前年度比14件増）

⑤ 生活支援体制整備事業の実施（市受託事業）

生活支援や介護予防の充実を図るため、市主催の協議体への参加、各種研修会及び住民主体で行うサロンへの参加を通じ、事業推進に必要な情報収集に努めるとともに、地域住民・団体が「支え合いのまちづくり」を進めていくうえでの助言や、第2層生活支援コーディネーター（地域包括支援センター）との協働、関係機関などとのネットワークづくりに努めました。

また、市民フォーラムの開催、通いの場情報誌の発行、訪問だよりの発行、社協だより「幸せな社会」へのサロンなど開催状況の掲載（シリーズ化）を通じ、市内における活動例の周知に注力しました。

更に、コープさっぽろ江別店に協力いただき、江別第一地域包括支援センターとの共催により市民交流の場「ちょこっと茶屋」を開催しました。

【会議への参加】

江別市生活支援体制整備協議体への出席など 26回

【研修会などへの参加】

学習会、講演会への出席など 5回

【関係機関との情報交換・情報収集活動】

市の各部署、その他関連団体との情報交換、訪問だより発行にあたっての活動など 55回

【地域活動への参加】

地域サロン、子ども・地域食堂への見学・参加など 97回

【通いの場情報誌の作成関連】

掲載許諾依頼のための訪問、現場視察など 48回

【ちょこっと茶屋の開催】

モデル視察、茶屋開催 9回

【その他】

子ども食堂開催支援（情報提供やつなぎ等）、サロンスペースになり得る場所の情報収集、サロンDVD作成に向けての打ち合わせなど 94回

基本計画2 ボランティア活動で進める福祉の環境づくり

市民がボランティア活動に積極的に参加できるよう支援し、地域福祉の担い手として活動しやすい環境づくりに努めました。

(1) ボランティアセンターの運営

① ボランティア活動の相談・登録、活動先紹介

ボランティア活動の相談受付、登録、ボランティア活動への協力依頼に対するボランティアへの情報提供及び活動希望者の調整・確保に努めました。

ア) ボランティアセンター登録団体・個人状況

区 分	登 録 状 況		増 減
	30年度末	29年度末	
団 体	55団体 1,451人	56団体 1,518人	△1団体 △67人
個 人	170人	157人	13人
合 計	1,621人	1,675人	△54人

イ) 社会福祉施設などへのボランティア協力

高齢者福祉施設や障がい児者施設などでの行事、在宅高齢者への支援及び相談活動などに協力しました。

【ボランティア協力活動実績】

活 動 区 分	延活動人数（人）		増減（人）
	30年度	29年度	
高 齢 者 施 設	5,244	4,457	787
障がい者施設・団体	665	708	△43
認 知 症 高 齢 者	1,825	1,668	157
託 児	50	67	△17
在宅高齢者・障がい者支援	954	1,068	△114
相 談	148	150	△2
そ の 他	277	206	71
合 計	9,163	8,324	839

② ボランティア活動の基盤整備

安心して活動に取り組める基盤の整備に努めました。

ア) ボランティア活動保険の加入

ボランティア活動中の万が一の事故に備え、加入の促進に努めました。

【取り扱い件数】 4, 194人

(登録ボランティア: 1,622人/愛のふれあい活動: 1,122人/自己加入者 1,450人)

イ) ボランティア団体助成金の交付

ボランティアセンター登録団体の活動を支援するため助成金の交付や各団体の民間助成金の交付申請手続きを支援しました。

◆団体への活動助成金 55団体 1, 174, 750円

◆民間助成金団体

- ・北海道地域活動振興協会ボランティア活動支援事業助成金
「札幌斎藤支部門人会大麻千鳥会」「たすけあいサークルよつば会」
「手作り紙芝居なかま」「長生民謡会」「夢一座」
「江別更生保護女性会」「朗読ボランティアグループまちの灯」
「江別市水上安全赤十字奉仕団」の8団体に助成
- ・大和証券福祉財団ボランティア活動助成金
「朗読ボランティアグループまちの灯」の1団体に助成
- ・みずほ教育福祉財団老後を豊かにするボランティア活動資金助成金
「手作り紙芝居なかま」「江別市芸能赤十字奉仕団」
「夢一座」の3団体に助成

③ ボランティア団体連絡会の運営

登録ボランティア団体で構成される「江別市ボランティア団体連絡会」を運営し、情報交換と交流の促進及び当協議会と協働してボランティア活動を展開しました。

各団体の活動内容はホームページに掲載し、市民にお知らせしました。

【総会及び役員会・講演会】

開催日 平成30年6月6日(水)

場所 総合社会福祉センター

講演会 「くらしサポートセンターえべつの取り組みについて」

講師: くらしサポートセンターえべつ

主任相談支援員 堀込 岳満 氏

(2) ボランティアの育成・確保

① ボランティア活動者研修の開催

ボランティア活動者に参加をいただき、活動の充実を図ることを目的として開催しました。

ア) 個人ボランティア向け研修

開催日 平成31年2月26日(火)
場 所 総合社会福祉センター
参加者数 22人
研修内容 「江別市生活支援体制整備事業における取り組み」
講師：生活支援コーディネーター 堀込 岳満・干野 里佳

イ) ボランティア団体会員向け研修

開催日 平成31年3月22日(金)
場 所 総合社会福祉センター
参加者数 21人
研修内容 「防災と減災のはなし」
講師：江別市危機対策室職員

② 傾聴ボランティアの育成

当協議会と江別市ボランティア団体連絡会が協働して、悩みや寂しさを抱える高齢者の話し相手をボランティア活動で行い、「聴く」ことにより心の不安を軽減することを目的に実施しました。

ア) 第14期養成研修

日 程 平成30年11月5日(月)～9日(金)の期間中、5日間
(17時間)の講義、実習
場 所 総合社会福祉センター、老健のっぽろ(実習施設)
講 師 シニア・ピア・カウンセラー 松坂 志津枝 氏
受講者数 12人

イ) 実行委員会

開催日 平成30年11月9日(金)(養成研修閉講日)
場 所 総合社会福祉センター
内 容 傾聴ボランティア事業の概要説明
傾聴ボランティア認定証交付
参加者数 12人

ウ) ステップアップ研修(全道傾聴フォーラムへの参加)

開催日 平成30年11月11日(日)
場 所 かでる2.7
内 容 基調講演『話せばわかる』は『聴き合えばわかる』ということ
基調講演後、5つの分科会に別れて参加
参加者数 24人

エ) 活動実績 (再掲)

14個人・33施設に対し、延べ2,615人(前年度比155人減)が活動しました。

③ フレンティア(社交ダンスボランティア)養成講習の開催

社交ダンスを通じて、高齢者や障がいのある方々の健康の保持増進、生涯学習と社会参加及び*ノーマライゼーションの推進を図ることを目的に、活動の担い手となる社交ダンスボランティアを「フレンティア」と名付け、当協議会が資格認定するボランティア養成講習を実施しました。

*ノーマライゼーション：高齢者や障がい者などを含む全ての人々が、地域で安心して生活をし、活動できる社会づくりの考え方。

【研修内容】

日 程 平成30年8月18日(土)～9月1日(土)の期間中、
5日間(24時間)の実技
場 所 総合社会福祉センター
講 師 江別SD・Iの会会員
受講者数 1人

基本計画3 市民参加で進める地域での生活支援や交流活動の促進

身近な地域でのつながりや絆を深め、安心して暮らせる地域づくりの活動支援の充実に努めました。

(1) 愛のふれあい交流事業の実施

様々な機会を利用して、自治会に「地域交流の集い活動事例集」や「社協紹介パンフレット」などを活用し、当事業への取り組みを働きかけました。

① 愛のふれあい活動の実施

ボランティアグループを編成し、ひとり暮らしの高齢者などへの安否確認などの助け合い活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地 区	実施自治会数(自治会)			対象世帯数(世帯)			ボランティア延人数(人)		
	30年度	29年度	増減	30年度	29年度	増減	30年度	29年度	増減
江 別	21	21	0	526	593	△67	885	923	△38
野 幌	33	32	1	656	636	20	1,336	1,487	△151
大 麻	31	32	△1	699	687	12	1,547	3,369	△1,822
合 計	85	85	0	1,881	1,916	△35	3,768	5,779	△2,011

② 地域交流の集い活動の実施

地域の高齢者・障がいのある方の閉じこもりを予防し、身近な住民による交流を促進するための活動に取り組む自治会を支援しました。

【実施状況】

地 区	実施自治会数 (自治会)			実施事業数 (回)		
	30年度	29年度	増減	30年度	29年度	増減
江 別	28	27	1	109	106	3
野 幌	31	31	0	110	109	1
大 麻	39	36	3	128	126	2
合 計	98	94	4	347	341	6

(2) 江別市共同募金委員会との協働

江別市共同募金委員会が実施する赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動に協力するとともに、助成金の確保に努めました。

① 赤い羽根共同募金運動への協力

平成30年10月1日から展開された赤い羽根共同募金運動へ協力しました。

【募金実績】 8,039,448円 (前年度比392,967円減)

★当協議会への共同募金助成状況

区 分	事 業 名	助成額 (円)		
		30年度	29年度	増 減
市町村 地 域 助 成	愛のふれあい交流事業	200,000	250,000	△50,000
	ボランティア団体育成	200,000	225,000	△25,000
	ボランティア活動者研修	0	18,000	△18,000
	傾聴ボランティア養成研修	39,000	59,000	△20,000
	傾聴ボランティアステップアップ研修	0	18,000	△18,000
	いきいきシニアスクール	0	22,000	△22,000
	江別ふれあい福祉の広場	107,748	130,918	△23,170
	広報誌「幸せな社会」発行	600,000	700,000	△100,000
道地域 助 成	ワークキャンプ	110,000	110,000	0
	行事用テントの幕購入	115,560	0	115,560
合 計		1,372,308	1,532,918	△160,610

② 歳末たすけあい運動への協力

平成30年12月1日から展開された歳末たすけあい募金運動へ協力しました。

また、平成30年12月25日（火）、寄せられた募金を活用し、民生委員・児童委員の調査により対象となった生活支援世帯へ見舞金を贈呈しました。

【募金実績】 4,854,335円（前年度比307,528円減）

【歳末たすけあい募金助成】

★見舞金の贈呈状況

区 分	30年度		29年度		増 減	
	世帯数(世帯)	見舞金額(円)	世帯数(世帯)	見舞金額(円)	世帯数(世帯)	見舞金額(円)
生活支援世帯	541	2,948,000	570	3,122,000	△29	△174,000

★福祉事業への助成状況

助成先	30年度		29年度		増 減	
	団体数(団体)	助成金額(円)	団体数(団体)	助成金額	団体数(団体)	助成金額(円)
障がい児・者団体 及びその家族会	5	227,000	5	252,000	0	△25,000
地域福祉推進団体	2	67,000	2	71,000	0	△4,000
合 計	7	294,000	7	323,000	0	△29,000

★当協議会への歳末たすけあい募金助成状況

事 業 名	助成額(円)		
	30年度	29年度	増 減
ハーフデイボランティアスクール	100,000	100,000	0
除雪派遣サービス	950,530	1,041,228	△90,698
合 計	1,050,530	1,141,228	△90,698

(3) 江別ふれあい福祉の広場の開催

障がい者団体、福祉団体及びボランティア団体などの参画により開催し、多くの市民が集いました。

また、平成30年7月21日（土）に実施する予定となっていました「スポーツレクリエーション」については、開催日が福祉施設の行事と重複したため、多くの参加者を募ることが困難な状況になったことから、中止となりました。

なお、市の「地域イベント職員派遣研修事業」として、江別ふれあい福祉の広場

の準備及び当日開催業務に市職員4人を受け入れました。

開催日	開催場所	来場者数
ふれあい福祉の広場 平成30年7月22日(日)	江別市総合社会福祉センター	約5,000人

【内 容】

◆ふれあい福祉の広場

- ・社会福祉功労者顕彰（P28参照）並びに赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金助成金交付
- ・ふれあいバザー ・ふれあい演芸大会 ・ふれあいビアガーデン
- ・ふれあいコーナー ・共同募金寄付金グッズを活用した募金活動など

(4) 企業・団体の地域貢献活動への支援

自治会、施設・団体、企業が行う社会貢献活動や地域行事などへの協力要請に対し、活動先の紹介、連絡調整及び活動備品の貸し出しなどの支援に努めました。

◆活動備品の貸出

- ・テント 10自治会 7施設 25団体
- ・机 2自治会 14施設 15団体
- ・椅子 2自治会 10施設 14団体

◆社会貢献活動への協力

- ・札幌地方自動車整備振興会江別支部、江別ロータリークラブ、全日本ロータス同友会札幌支部（車椅子無料点検）
- ・江別グリーンライオンズクラブ、株式会社カーブスジャパンフードドライブ事務局（緊急支援用食糧寄贈）
- ・江別管工事業協同組合（ひとり暮らし高齢者宅水廻り無料点検）
- ・江別建設業協会（高齢者宅除雪ボランティア）
- ・北海道コココーラ株式会社（福祉施設への清涼飲料水寄贈）
- ・江別西ロータリークラブ（介護用電動ベット寄贈）
- ・江別消費者協会（消費者のひろば開催）
- ・末日聖徒イエス・キリスト協会（車椅子寄贈）

基本計画4 体験学習、研修による福祉意識の醸成

福祉施設などと協働し、青少年はじめ市民に体験の場や研修の機会を提供し、福祉意識の醸成に努めました。

(1) 地域福祉活動者研修会の開催

自治会役員などを対象に、地域活動に活かせるレクリエーション技術を自ら体験しながら習得していただき、「愛のふれあい交流事業」などに役立てていただくことを目的に研修会を開催しました。

【開催内容】

開催日 平成31年3月13日(水)

場 所 総合社会福祉センター

内容/講師 体験学習

楽しみながら健康づくり・仲間づくり～すぐに使えるレクリエーション～/江別レクリエーション協会

参加者数 47人(26自治会)

(2) 福祉施設での体験学習

① ワークキャンプ(福祉施設介護体験学習)の開催

高校生を対象に、福祉施設の協力を得て、支え合う心の大切さを学ぶ機会として食事介助、アイマスクを着用しての歩行体験、施設利用者との交流などを行いました。

【開催内容】

開催期間	参加者数	場所
平成30年7月30日(月)	3人	静苑ホーム
平成31年1月8日(火) 9日(水) (同じプログラムで2日間の開催)	9人	静苑ホーム
平成31年1月9日(水)	3人	恵明園
計	15人	(前年度比参加者数9人減)

② ハーフデイボランティアスクールの開催

小・中・高生を対象に、福祉施設の協力を得て、施設に対する理解を深め、ボランティア活動に取り組むきっかけとなることを目的に開催し、施設利用者との交流、作業体験を行いました。

【開催内容】

開催日	参加者数	場所
平成30年10月27日(土)	2人	友愛ナーシングホーム
	3人	静苑ホーム
計	5人	(前年度比参加者数8人減)

(3) 総合的な学習の時間や学校・大学の福祉活動への協力

総合的な学習の時間に伴う体験用具の貸し出しやボランティア派遣を通して協力しました。

◆体験用具の貸出

- ・疑似体験セット 小学校4校
- ・車椅子 小学校3校
- ・アイマスク 小学校2校

◆ボランティア派遣 小学校4校

◆社協職員による総合的な学習の時間への協力 小学校2校（2回）

(4) いきいきシニアスクールの開催

江別市シルバーウィークの一環として、高齢期に生きがいを持ち、住み慣れた地域で安心・安全な生活を送る一助となることを目的に、9月5日（水）「防災・減災のはなし」として講演会を予定しておりましたが、9月4日から9月5日未明にかけて通過した台風21号により倒木被害の対応で、講師予定者である市危機対策室職員の方の都合がつかなくなり急遽中止しました。

基本計画5 自立した生活を支援する福祉サービスの提供

住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるように、各種の福祉サービスの提供に努めました。

(1) 雪処理への支援

① 福祉除雪サービスの実施（市受託事業）

高齢・重度の身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に公道（車道）除雪後に残る「置き雪」の処理をロータリー車、ショベルカーを使用し実施しました。

【実施期間】 平成30年11月1日～平成31年3月31日

【利用料金】 1間口3m以内（追加料金は1間口12,200円）

種別	市からの助成金	利用者自己負担額	合計
市・道民税非課税世帯	22,190円	13,450円	基本料金 35,640円
同均等割課税世帯	17,190円	18,450円	
同均等割・所得割課税世帯	12,190円	23,450円	

【実施状況】

地 区	30年度（世帯）		29年度（世帯）		増 減 （A－B）
	利用世帯数（A）	（Aの内、新規）	利用世帯数（B）	（Bの内、新規）	
江 別	259	（27）	270	（22）	△11
野 幌	286	（43）	281	（41）	5
大 麻	194	（27）	199	（28）	△5
合 計	739	（97）	750	（91）	△11

② 除雪派遣サービスの実施

高齢・重度身体障がいなどで除雪が困難な世帯を対象に作業協力員により玄関先から公道までの除雪を実施しました。

作業協力員確保のため、江別市シルバー人材センターのほか、札幌勤労者企業組合、障がい者就労移行支援事業所との契約や知的障がい者施設などの協力に加えて、独自に作業協力員の確保も行い、利用対象全世帯にサービスを提供しました。

【実施状況】

地 区	利用世帯数（世帯）		
	30年度	29年度	増減
江 別	49	53	△4
野 幌	47	47	0
大 麻	48	55	△7
合 計	144	155	△11

③ 「えべつ雪の処理情報誌」の作成

市民の様々な除排雪の要望に対応するため、除排雪作業・料金などの内容を事業者別に記載した情報誌を発行するとともに、公共施設などに配置したほか、自治会の協力を得て回覧するなど、きめの細かい情報提供を行いました。また、雪処理を行う事業者一覧を社協だより「幸せな社会」に掲載しました。

【掲載事業者数】 31事業者掲載（前年度比1事業者減）

(2) 高齢者・障がい者給食サービスの実施（市受託事業）

疾病・障がいにより食事の支度が困難な高齢ひとり暮らし世帯・夫婦世帯などに夕食を届けました。また、配送時に安否確認を行い消防など関係機関と連携し、利用者の緊急時の対応を行いました。

また、平成30年9月6日（木）発生した北海道胆振東部地震災害に際しては、調理事業者が停電・断水・食材納入のストップにより、調理が困難となり、通常配食ができなくなったものの、おにぎりやおかゆと当協議会が確保した非常食を配食

しました。9月11日（火）以降完全な通常配食体制に戻りました。

【配食実績】

地区	利用数	ひとり暮らし世帯（世帯）			高齢夫婦世帯（世帯）			障がい者世帯（世帯）			高齢者+障がい者（世帯）			合計（世帯）		
		30年度	29年度	増減	30年度	29年度	増減	30年度	29年度	増減	30年度	29年度	増減	30年度	29年度	増減
江別	世帯数	95	91	4	12	9	3	2	2	0	0	0	0	109	102	7
	食数	95	91	4	24	18	6	2	2	0	0	0	0	121	111	10
野幌	世帯数	62	75	△13	10	11	△1	3	3	0	2	2	0	77	91	△14
	食数	62	75	△13	20	22	△2	3	3	0	4	5	△1	89	105	△16
大麻	世帯数	53	63	△10	5	3	2	9	7	2	1	2	△1	68	75	△7
	食数	53	63	△10	10	6	4	9	7	2	2	5	△3	74	81	△7
合計	世帯数	210	229	△19	27	23	4	14	12	2	3	4	△1	254	268	△14
	食数	210	229	△19	54	46	8	14	12	2	6	10	△4	284	297	△13

【年間配食実績】 73, 119食（前年度比4, 493食減）

(3) 障がい児者移動支援事業の実施

江別市が福祉サービスの利用を決定した身体・知的障がい児者の社会生活上、必要な外出・余暇活動・社会参加などの介助のために、ガイドヘルパーを派遣しました。

【実施状況】 ガイドヘルパー数 30人 ガイドヘルプ利用者数 17人

【利用実績】

利用内容	件数（件）		
	30年度	29年度	増減
健康・体力づくりや余暇活動などのための外出	227	214	13
医療機関への相談又は受診	130	108	22
公的施策などによって開催される研修・講座への参加	0	0	0
一般市民向けの各種行事への参加	32	46	△14
福祉活動を目的とした団体行事などへの出席	191	210	△19
奉仕活動のための外出	1	0	1
児童の外出の手助け	0	0	0
学校行事への参加	0	0	0
その他の外出	237	191	46
合計	818	769	49

(4) 福祉機器の貸与

① 福祉機器の貸与

疾病・障がいがある方の日常生活を支援するため、福祉機器を貸与しました。

【貸与状況】

福祉機器	保有台数(台)	貸与件数(延貸与月数)(件)		
		30年度	29年度	増減
車椅子	197	1,154	1,296	△142
介護用手動ベッド	24	137	136	1
介護用電動ベッド	67	510	492	18
歩行器	40	180	239	△59
計	328	1,981	2,163	△182

② 福祉ベルの設置

江別市緊急通報システム設置待機者を対象に、身体急変時の緊急連絡用として福祉ベルを設置しました。

【設置状況】

区分	江別地区(件)	野幌地区(件)	大麻地区(件)	合計(件)
29年度までの設置数	3	7	1	11
30年度設置数	1	1	3	5
30年度返却数	△3	0	△1	△4
計	1	8	3	12

(5) 北光保育園・野幌季節保育所の運営

農村地域の児童の健全育成と子育て支援の一環として開設している北光保育園及び野幌季節保育所を運営しました。

北海道胆振東部地震災害に際しては、平成30年9月6日(木)から8日(土)まで停電・断水の影響と安全面を考慮し休園しました。10日以降通常保育に戻りました。

【保育児童数】

区分 保育所名	30年度年齢別保育児童数 (人)					29年度 計(人)	増減 (人)
	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
北光保育園	7	6	10	6	29	38	△9
野幌季節保育所	3	1	0	3	7	8	△1
合計	10	7	10	9	36	46	△10

基本計画 6 地域に信頼される社協運営のための組織づくり

地域福祉推進の中核的な役割を發揮できる組織づくり、市民から信頼される運営体制の確立に努めました。

(1) 組織体制の整備

当協議会の運営、事業への市民・福祉団体の参加の促進や行政との連携に努めました。

特に、台風21号、北海道胆振東部地震災害に際して、職員を適切に配置し、事業実施に支障が無いように具体的な対策を講じました。

また、人事評価制度を導入し、職員の職務の実績や能力を公平かつ客観的に評価し、その結果を組織全体の士気高揚を促し、市民サービスの向上を目指すための人事管理の基礎として活用しました。

① 行政との連携

特に、下記内容について、市と連携・協議のうえ、実施しました。

- ◆北海道胆振東部地震への対応として、避難所開設及びサービス利用者に支障が無いように事業を実施する方法などについて協議
- ◆くらすボ相談支援員が毎週事業の進め方や相談内容などについて支援調整会議を開催し協議【再掲】
- ◆江別市成年後見支援センターの運営、受任調整会議の開催内容及び具体的な後見受任ケースなどについて協議
- ◆市実施の「地域イベント職員派遣研修事業」の内容について協議し、江別ふれあい福祉の広場へ職員4人受け入れ【再掲】
- ◆生活支援コーディネーター業務の進め方及び生活支援体制整備事業の実施や周知方法について協議【再掲】
- ◆第2期江別市総合社会福祉センター改修等年次計画に基づき、平成30年6月から12月にかけて実施した照明設備更新工事の進捗状況について協議

② 部会・委員会組織の活性化

部会・委員会を開催し、当協議会の運営に市民・福祉団体の意見・考え方を積極的に反映しました。

【部会・委員会開催状況】

会議名	開催回数	開催年月日
合同（総務・地域福祉）部会	2回	H30. 9. 20 H31. 2. 26

広報編集委員会	4回	H30. 6. 11 H30. 9. 10 H30. 12. 10 H31. 3. 11
福祉金庫管理委員会	1回	H30. 5. 15
災害対策会議	1回	H30. 9. 14
江別市成年後見支援センター 受任調整会議【再掲】	6回	H30. 6. 8 H30. 7. 5 H30. 8. 23 H30. 9. 14 H30. 11. 19 H31. 2. 4

③ 役職員などの研修・資質向上

ア) 役員・評議員研修の実施

役員・評議員が当協議会事業の内容について理解を深める機会として開催しました。

平成30年度は、当協議会にとって高齢者などの権利を擁護し、暮らしの安心を支えるための重要な取り組みとなっている江別市成年後見支援センターや法人後見事業の役割や機能について改めて理解を深めることを目的に、平成29年度に引き続き、市から受託の成年後見制度普及啓発事業の一環として一般市民を対象に開催した成年後見制度講演会を当研修に位置付し実施しました。

【開催内容】

開催日 平成30年11月4日（日）

場 所 江別市民会館

参加者数 36人

内 容 「おひとりさまの認知症と成年後見制度～認知症の友人を任意後見人として支えて～」

講 師： ノンフィクションライター 中澤 まゆみ 氏

イ) 研修会への参加

役員が、社会福祉の現状や今後の動向などについて理解を深めるため参加しました。

【参加研修会】

研 修 会	開 催 日	場 所	人 数
平成30年度法人役員研修	H30. 11. 15	札幌市	3人

ウ) 職員の資質向上

当協議会の課題について、調査・研究することを目的に、職員の自主性を重視した研修年次計画を策定し、その計画に基づき研修を行うとともに、道社協主催研修会などに職員を派遣し、資質向上に努めました。

【研修年次計画に基づく研修】

研 修 日 平成30年10月9日（火）～10日（水）

研修職員数 1人

研 修 内 容 コミュニティソーシャルワーカー（CSW）実践者養成研修

研 修 先 札幌市

【北海道胆振東部地震対応】

被災したむかわ町の災害ボランティアセンター（むかわ町社協）運営支援のため、北海道災害ボランティアセンターから道内市町村社協に対する派遣要請に基づき、平成30年9月15日（土）から5週間にわたり職員7人を交代で派遣しました。職員の経験は、今後の災害ボランティアセンター運営の大きな糧となりました。

【主な派遣研修会】

研 修 会	開 催 日	場 所	人数
職業紹介責任者講習	H30. 5. 25	札幌市	1人
安全運転管理者講習	H30. 6. 13	江別市	1人
石狩管内社協職員連絡協議会総会及び研修会	H30. 6. 15	北広島市	4人
	H30. 11. 16	〃	3人
	H31. 2. 22	〃	3人
権利擁護人材養成市町村セミナー	H30. 7. 25	札幌市	1人
ひきこもり等相談支援機関合同説明会	H30. 7. 27	江別市	3人
全道生活困窮者自立支援制度担当者会議	H30. 8. 2	札幌市	1人
道民児連ご近所福祉推進研修	H30. 8. 8	〃	2人
法人後見従事者養成研修 in 札幌	H30. 8. 18～ 19	〃	1人
	H30. 9. 1～ 2		
道央圏生活困窮者自立支援事業担当者情報交換会	H30. 8. 31	岩見沢市	2人

生活支援コーディネーター情報交換会	H30. 9. 20～ 9. 21	札幌市	1人
社協職員先進地域福祉活動視察研修	H30. 10. 9～ 10	〃	1人
道地域福祉生活支援センター指揮監督者等研修会	H30. 10. 23	〃	1人
高齢者の権利擁護を考える集い	H30. 10. 24	〃	1人
生活困窮者自立支援事業関係研修	H30. 10. 26	〃	1人
生活福祉資金貸付事業研修会	H30. 11. 6	〃	2人
江別地域における多職種連携研修会	H30. 11. 21	江別市	1人
石狩地区災害ボランティア組織連絡会議	H30. 11. 27	札幌市	2人
「ひきこもり本人や家族に寄り添う支援とは」研修	H30. 12. 22	〃	2人
家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会	H31. 1. 28	〃	1人
市町村成年後見センター等連絡会議	H31. 1. 29	〃	2人
成年後見センター等担当職員研修	H31. 2. 12	〃	1人
地域公益活動普及啓発セミナー	H31. 2. 13	〃	1人
全道生活困窮者支援関係事業研究協議会	H31. 2. 19	〃	1人
地域共生社会に向けたシンポジウム	H31. 3. 13	〃	1人
石狩管内生活支援コーディネーター意見交換会	H31. 3. 17	〃	1人

(2) 財源基盤の整備

当協議会の運営や福祉活動を推進するため財源基盤の整備に努めました。

① 会員会費制度の定着・促進

住民・福祉団体などとの協働を進めるうえで基本的な財源となる会員会費制度の定着・促進に努めました。

【会員会費状況】

区 分	件 数			備 考
	30年度	29年度	増減	
第1種会員会費 (世帯会費)	38,395世帯	38,337世帯	58世帯	1世帯 年額300円
第2種会員会費 (施設会費)	41施設	42施設	△1施設	50人未満 5,000円 50人以上 7,000円 100人以上 200人未満 10,000円
第3種会員会費 (団体会費)	90団体	91団体	△1団体	1団体 3,000円 *ボランティアセンター登録団体は人数による
第4種会員会費 (特別会費)	678個人・事業所	695個人・事業所	△17個人・事業所	1口 1,000円以上
合 計	39,204件	39,165件	39件	

② 社会福祉基金の積立・運用

寄付金を安全確実な方法で運用するとともに、大規模改修事業（照明設備更新工事）に元金積立額を、そして、利息5,723,846円を各種地域福祉事業に充当しました。

また、市内に在住している方（故人）の遺志に基づく当協議会への寄付について、関係者と協議の結果、5,000,000円の大口寄付を受領することが出来ました。

【元金積立及び運用内訳】

積立・寄付状況	金 額 (円)	運用内訳 (30年度末)
29年度までの元金積立額①	142,555,485	政府保証債 (年利率1.662%) 100,000,000円
30年度寄付金受入額②	7,352,547 内訳・篤志寄付7,296,848 ・つもり寄付 55,699 寄付件数 72件	金融機関預金 35,955,632円 【内訳 (ペイオフ対策による管理)】 定期預金 (年利率0.01%) 10,000,000円
第2期総合社会福祉センター改修等年次計画に基づく大規模改修事業への運用額③	△13,952,400	定期預金 (年利率0.01%) 10,000,000円 定期預金 (年利率0.01%) 10,000,000円
30年度末元金積立額 (①+②-③)	135,955,632	定期預金 (年利率0.01%) 10,000,000円 普通預金 (年利率0.001%) 5,955,632円

③ 共同募金からの助成金の確保（P11～12 参照）

④ 一般寄付金の活用

直接、当該年度事業に充当できる制度として活用し、特に、江別市高齢者クラブ連合会女性部からの寄付金40万円で電動ベット1台・福祉ベル4台・電動空気入れ1組を購入しました。

また、一般財団法人北海道信用金庫ひまわり財団から10万円が寄付され、在宅福祉サービス、ボランティア活動の促進に役立てました。

【寄付取扱実績】 件数 38件 寄付金額 1,089,316円

⑤ 各種事業コストの検討

福祉除雪サービスの利用料金の適正化について市及び江別環境整備事業協同組合と協議した結果、平成30年度の利用料金は据え置くことを決定、平成31年度以降改めて協議・検討することとしました。

総合社会福祉センター照明設備更新工事（全面LED化）により、利用環境の整備と経費の効率化を図りました。

また、29年度からの懸案事項であった作業委託費の増に伴う除雪派遣サービスの利用料金の適正化については、平成30年度から作業1回当たり400円から500円に改定しました。

(3) 事務事業の改善

事務局評価などを通して、事務事業の内容を精査し、改善に努めました。

【主な改善事項】

- ・職員の職務の実績や能力が公平かつ客観的に評価する仕組みとして人事評価制度を導入
- ・総合社会福祉センター照明設備更新工事（全面LED化）による利用環境の整備と経費の効率化【再掲】
- ・より一層市民に見やすく、分かりやすく福祉情報を提供するためホームページをリニューアル【再掲】
- ・平成30年9月14日（金）平成30年度第1回災害対策会議を開催し、事務局体制の改編及び職員数の増などに伴い、災害対策計画及び災害ボランティアセンター運営マニュアルを一部改訂

(4) 総合社会福祉センターの管理運営

福祉団体等が利用する地域福祉活動の拠点施設として、また、高齢者が集う交流の場として運営しました。

施設の長寿命化を図るため、平成23年度に策定した「第2期江別市総合社会福祉センター改修等年次計画」に基づく照明設備更新工事（全面LED化）の施行内

容や工事費財源の交付時期などについて市と協議し、計画どおり実施しました。更に、利用者の理解と協力を得て、照明の間引きなどの節電にも引き続き取り組みました。

また、北海道胆振東部地震災害に際しては、平成30年9月6日（木）から9日（日）まで、市からの要請と協議に基づき避難所を開設、職員が早朝・深夜も含めて交代で常駐し、避難されて来た方に対応しました。

【月別利用状況】

月	利用者数（人）			月	利用者数（人）		
	30年度	29年度	増減		30年度	29年度	増減
4	4,213	4,368	△155	10	4,916	4,255	661
5	4,161	4,128	33	11	4,319	4,015	304
6	4,533	4,340	193	12	3,618	3,494	124
7	3,738	3,270	468	1	3,220	2,966	254
8	3,982	3,761	221	2	3,677	3,677	0
9	3,258	3,831	△573	3	4,107	4,753	△646
計					47,742	46,858	884
累計（昭和57年度～平成30年度）					2,210,664人		

(5) 防災・災害対策の推進

当協議会の災害時の役割である災害ボランティアセンターの運営マニュアル概要版をホームページに掲載するとともに、市総合防災訓練、消費者のひろば及び生涯学習フェスティバルなどのイベント及び「社協事業活動の説明」の機会に当センターについて説明し、PRに努めました。

平成30年9月14日（金）平成30年度第1回災害対策会議を開催し、事務局体制の改編及び職員数の増加などに伴い、災害対策計画及び災害ボランティアセンター運営マニュアルを一部改訂しました。【再掲】

更に、台風21号及び北海道胆振東部地震災害に際して、事業実施に支障が無いように対策を講じるとともに、総合社会福祉センターでの避難所開設など市の災害対策に協力しました。【再掲、各事業の実績欄に内容掲載】

平成30年11月6日（月）開催の道社協主催「石狩地区災害ボランティア組織連携会議」に職員を派遣し、北海道災害ボランティアセンターの取り組みやこの度被災した町村の災害ボランティアセンターの運営状況などについて研修しました。

また、平成31年3月25日（月）には、総合社会福祉センター利用者の協力を得て、災害発生時の身体の安全と人命確保を目的として火災消防訓練を実施しました。

(6) 地域福祉実践計画の進行管理

合同（総務・地域福祉）部会において、計画の執行状況について管理し、円滑な推進を目指すため、6基本計画・47個別実践事業について、平成30年度1回目の評価を実施しました。

全体としては、増加傾向にある相談や利用者に対して支援策を講じたことや業務の改善が行われたことに高い評価を受け、その結果、基本計画では、5計画で「評価4」、個別実践事業では、47事業全てが基準点の「評価3」以上で、その内「評価4」が20事業でした。

平成30年度は全般にわたり、非常に順調な推進状況と評価されました。

なお、平成30年度の最終評価は、令和元年9月頃実施予定です。

【基本計画評価結果】

分類	基本計画の主な内容と評価結果
基本計画1	地域福祉に関する課題把握、情報提供や相談支援体制の整備 [生活困窮者自立支援事業など13事業] 5 4 3 2 1
基本計画2	ボランティア活動で進める福祉の環境づくり [ボランティア活動の基盤整備など5事業] 5 4 3 2 1
基本計画3	市民参加で進める地域での生活支援や交流活動 [愛のふれあい活動など5事業] 5 4 3 2 1
基本計画4	体験学習、研修による福祉意識の醸成 [ワークキャンプの開催など4事業] 5 4 3 2 1
基本計画5	自立した生活を支援する福祉サービスの提供 [給食サービス事業など7事業] 5 4 3 2 1
基本計画6	地域に信頼される社協運営のための組織づくり [社会福祉基金の積立・運用など13事業] 5 4 3 2 1

★会務の運営、基本計画以外の主な活動

(1) 会務の運営

① 三役会（会長・副会長・常務理事会議） 12回

開催日	開催日	開催日
平成30年 4月11日(水)	平成30年 8月 7日(火)	平成30年12月 4日(火)
平成30年 5月21日(月)	平成30年 9月14日(金)	平成31年 1月17日(木)
平成30年 6月26日(火)	平成30年10月23日(火)	平成31年 2月15日(金)
平成30年 7月18日(水)	平成30年11月13日(火)	平成31年 3月11日(月)

② 理事会 4回

開催日	開催日
平成30年 5月29日(火)	平成30年12月17日(月)
平成30年10月 5日(金)	平成31年 3月18日(月)

③ 評議員会 3回

開催日	開催日
平成30年 6月15日(金)	平成31年 3月27日(水)
平成30年10月15日(月)	

④ 監事監査 4回

開催日	開催日
平成30年 5月25日(金)	平成30年12月11日(火)
平成30年 8月29日(水)	平成31年 3月12日(火)

⑤ 評議員選任・解任委員会 1回

開催日
平成30年10月11日(木)

(2) 社会福祉功労者顕彰

社会福祉功労者を江別ふれあい福祉の広場開催時に表彰し、感謝の意を表しました。

【被顕彰者数】 表彰 56人 1事業所 感謝 9人

(3) ボランティア研修事業などへの参加

①石狩地区ボランティアネットワーク協議会（主催：道社協）

【開催内容】

開催日 平成31年1月8日（火）

場所 かでる2.7（札幌市）

参加者数 2人

内容 石狩管内社協におけるボランティア活動の情報交換について

②石狩地区ボラネットスキルアップ研修会（主催：道社協）

【開催内容】

開催日 平成30年7月11日（水）

場所 新篠津村自治センター

参加者数 3人

内容 ・講演：認知症の世界
・石狩管内ボランティア情報交換会

(4) 障がい児者施設の作品展示・販売

障がい児者への理解を図ることを目的に、障がい児者施設の作品を総合社会福祉センターロビーに設置している「福祉の店」で展示・販売しました。

また、新たに2施設が展示・販売を開始しました。

【販売数】 ぼかし、固形石鹸、ポーチなど 合計 105点

(5) 福祉団体・ボランティア団体写真展の開催

江別ふれあい福祉の広場の開催に合わせ、福祉団体・ボランティア団体・施設などの活動をPRすることを目的に、平成30年7月22日（日）から29日（日）までの期間、総合社会福祉センターで写真展を開催し、44団体（前年度比1団体減）から出展がありました。

(6) 社協だより「幸せな社会」への広告掲載

広告料による自主財源の確保に努めました。

【広告掲載実績】 掲載事業者数 7社 広告料 115,000円